

## 待降節第二主日A

マタイ3・1-12

### 「悔い改めよ。天の国は近づいた」

皆さん、今日は待降節の第二主日です。先週は、福音から待降節の本当の目的である「主の来臨に備える」ことについて聞きました。待降節は、自分の人生を振り返る、あるいは生き方を変える機会でもあります。

今日の福音は、洗礼者ヨハネの話ですが、ヨハネの言葉は、私たちの生き方を変えることを思い起こさせるものです。洗礼者ヨハネは、「悔い改めよ。天の国は近づいた」と叫びました。

洗礼者ヨハネとはだれでしょうか。洗礼者ヨハネは、恐れず、正しいことを言いつづけ、勇気を持って真理を語った方でした。そして、主イエスのために道を備える預言者でした。彼の重要なメッセージは「悔い改め」です。ただし、洗礼者ヨハネが説いた「悔い改め」は、私たちが考えているような「悔い改め」ではありません。私たちは、悔い改めとは、ひざまずいて床に頭を打ち付けたり、自分がいかに悪い人間であったかを語ったりすることと考えていないでしょうか。しかし、ヨハネは、私たちが通常考えている「悔い改め」とは全く違うことを言っているのです。

「悔い改め」という言葉は、ギリシャ語では「メタノイア」と言います。「メタノイア」とは、「主のもとに戻る」「神へと方向を変える」というときに使われる言葉です。自分の人生を取り戻すということです。実際、悪い道から方向を変え、良い道に戻ることです。

悔い改めは、待降節の間だけでなく、日々繰返しなされるものであり永遠に続くべきものです。それは、罪の許しを神に請うことです。神から離れ、神に背く罪は、体の中でゆっくりと広がっていく毒のようなものです。悔い改めは、私たちが神の元に戻り、魂を解毒するための方法なのです。神の到来に備えるために、私たちは魂の大掃除をする必要があります。私たちは神のもとに立ち返り、神のために場所を空けなければなりません。

私たちは、時代の終わりにキリストが来られることキリストと再びお会いすることを待ち望んでいます。私たちは、キリストが私たちの中に常にいてくださることをとても感謝しています。しかし、キリストは悔い改める心、清い心、変えられた心に入ってこられるのです。

それでは、イエスが私たちの人生に入り込んでくださるために、私たちはどのように心の方向転換をすれば良いでしょうか。今日、皆さんと一緒に考えたいことは4つあります。

一つ目は、「後悔」です。これは、私たちが自分のした悪いことを素直に悔い、受け入れるということです。

私たちが後悔するのは、愛以外の理由ではありません。善良で、すべてを愛しておられる神様にそむき、神を離れてしまったことを悔やむのです。

二つ目は「回復」です。これは、私たちが、自分の罪のために引き起こした損害や被害を償う意志と能力があることを意味します。私たちは自分の罪を合理化したり、正当化しようとして、他の人を非難することはないでしょうか。もし、私たちが隣人に対して不当なことをしたならば、私たちは悔い改め、自分が他の人に与えた損害や被害に対して賠償をしなければなりません。

三つ目は、「和解」です。これは、壊れた関係が修復される、あるいは再び完全なものとなることを意味します。私たちは主イエスの十字架のゆるしにより父なる神様のもとに戻ることがゆるされました。神様との和解はまた、2人以上の人々の関係を兄弟姉妹の関係へと変えることでもあります。神学的には、和解により神と人との関係が変えられることにより、人と人との関係が変えられることを意味します。

最後は、「刷新」です。イエス様が私たちの人生に入り込んでくださることは、もちろん、私たちの中の変化を意味します。これはもちろん、私たちの行動の変化に反映されます。つまり、刷新という文字の通り、罪から離れ、神に向かう人生の方向転換が日々新しく起こるということです。

今日、私たちは悔い改める心を持ち、神のもとに戻ることができるように祈りましょう。神の憐れみと愛が私たちの上であり、私たちが互いにゆるし合い、愛し合うことで神の憐れみと愛を示すことができるように祈るうではありませんか。

*Lazun naw san vincent (pime)*